

議 事 録

<p>会議名 平成24年度 第1回 第三次町田市地域福祉活動計画 推進委員会</p>	<p>開催日時 自：14時00分 平成24年11月2日（金）至：15時10分</p>
<p>出席者9名  会長・常務  欠席者2名  事務局</p>	<p>小野敏明・高橋協子・島峯紀子・服部くに子・稲木健志・谷和久・ 田部井眞・田中瑤子・市川恵子 佐々木のり・臼井満里子  興野安雄・中村肇  坪野法人運営室長・鏈溝地域福祉推進室長・久保田事業室長 井上主幹・鳥居主幹・星統括主査・永田統括主査・井藤主査 荒木主査・宮本主査</p>
<p>配布資料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 第1回委員会次第</li> <li>2 地域福祉活動計画推進委員会設置要綱</li> <li>3 第三次町田市地域福祉活動計画推進委員名簿</li> <li>4 第三次町田市地域福祉活動計画書</li> <li>5 第三次町田市地域福祉活動計画体系図</li> <li>6 基本計画まとめシート</li> <li>7 取り組みの視点別成果判断シート</li> <li>8 重点計画シート</li> </ol>	
<p>開 会  委嘱状の交付  会 長 挨拶  委員自己紹介  事 務 局 自 己 紹 介  委員長・副委 員 長 選 出</p>	<p>法人運営室長は、定刻となったので開会を告げた。  会長から、委員へ委嘱状の交付を行った。任期は平成24年9月1日から平成26年8月31日まで。  会長は、出席委員に参集のお礼を述べ、第三次町田市地域福祉活動計画推進に対しての協力を依頼した。  法人運営室長は、本日が第一回目の委員会開催となるため、各出席委員に自己紹介を依頼した。  委員の自己紹介後、事務局側の自己紹介を行った。  続いて、法人運営室長は、委員長の選出について委員に諮ったところ、事務局案を求められたため、小野敏明氏にお願いしたい旨の提案を行った。 出席委員は承認し、小野敏明氏も承諾したため、委員長は小野敏明氏となった。 続いて、副委員長の選出について委員に諮ったところ、事務局案を求められたため、高橋協子氏にお願いしたい旨、提案を行った。 副委員長についても、出席委員は承認し、高橋協子氏も承諾した</p>

## 議 事 録

	<p>ため、副委員長は高橋協子氏となった。 小野敏明委員長、高橋協子副委員長は、一言ずつ挨拶を行った。</p> <p>これより、小野委員長が議長となった。</p>
委 員 長	委員長は、第三次町田市地域福祉活動計画推進委員会の役割についての説明を事務局に求めた。
事 務 局	法人運営室長は、委員の役割について、配布資料である委員会設置要綱を基に説明を行った。
委 員 長	委員長は、委員会の役割について質疑を受け付けたが、特に声はなかったため、委員会の進め方についての説明に移り、事務局に説明を求めた。
事 務 局	法人運営室長は、本委員会の開催回数について、委員に諮った。
委 員 長	委員長は、委員会の役割が、計画推進の評価ということを考えて、年2回程度が適当ではないかと考えるが、いかがか。と他の委員に投掛けた。
委 員	「初年度から2年度は、1~2回程度でも良いのではないかと考えるが、それ以降は、第四次の計画策定も見据えて行くと、状況によっては、回数も増える事もあるのではないかと考える。」
委 員	「計画の評価内容が、社協の事業計画に反映していかななくては評価の意味も無くなるので、事業計画のタイミングなども踏まえて、開催時期等決めてもらいたい。」
委 員	「回数は2回ぐらいとし、また必要に応じて開催すればよいのではないか。」
委 員 長	委員長は、他に声が無かったため、開催回数は当面は年間2回程度とすることとして進める事で委員の了承を得た。 <p>続いて、委員長は評価の方法について事務局に説明を求めた。</p>
事 務 局	法人運営室長は、評価方法についての説明の前に、体系図について、計画書（本冊子）の22ページ、23ページの体系図に一部記載ミスがあるため、今後は本日本配布の体系図を基に、確認をお願いしたいとお詫びし、お願いした。 <p>また、計画書（本冊子）の体系図に記載している、基本目標4「社協組織の基盤強化」については、本委員会での評価対象項目からは除外し、委員会開催時に、取り組みの進捗状況を報告することとし</p>

## 議 事 録

	<p>たい旨を依頼した。</p>
委 員	<p>「「社協組織の基盤強化」の内容はどの様なことなのか。」</p>
法人運営室長	<p>「取り組み内容は、体系図に記載のある、1 財源確保、2 職員の育成、3 事務局体制の充実、4 せりがや会館の活用検討の4項目です。」</p>
委 員	<p>「事務局の体制がしっかりしていないと、計画の推進も上手く進んで行かないのではないか。」</p>
委 員 長	<p>「「社協組織の基盤強化」については、委員として意見を言う事は出来ると思うが、会長の専決事項でもあると思うので、この場での意見も参考にさせていただきながら、会長判断でしっかり進めて行っていただきたい。」</p>
	<p>法人運営室長は、続いて、評価シートの説明を担当職員から行う事を説明し、評価シートの説明を行った。</p>
委 員	<p>「先程、シートの説明の中で、「その他の事業」という説明があったが、「その他の事業」が指す部分は何の事業のことか。」</p>
事 務 局	<p>「本日配布の体系図の中で、重点計画として指定されていない、基本計画1-2、3-2の事業等です。」</p>
委 員	<p>「福祉事業は、成果が見えにくい部分が多いので、取り組みとして、この様な方法で実施していくのは良いと思う。また、職員が自己評価したうえで、この委員会で客観的な評価が出来るようになれば良いのではないか。」</p>
事 務 局	<p>「事務局としては、取り組みの視点別成果判断シートを職員で評価したうえで、基本計画まとめシートを委員の皆さんにご評価いただきたいと考えている。」</p>
委 員 長	<p>特に異論が無ければ、次回委員会では、まとめシートの評価をしていただくことになるが良いかを確認したが、特に意見はなかったため、評価の内容や評価方法は提案の内容のとおりとなった。</p>
	<p>法人運営室長は、続いて基本目標4についての、現状報告について行いたい旨を提案し、委員の了解が得られたため、順番に報告を行うこととした。</p>
	<p>1 財源確保については、鏑溝地域福祉推進室長、2 職員の育成は、坪野法人運営室長、3 事務局体制の充実は永田統括主査、4 せりがや会館の活用検討は久保田事業室長がそれぞれ行った。</p>

## 議 事 録

委 員	「事務局体制は今何人なのか。」
法人運営室長	「3室5担当で学童含めて80名です。」
委 員	「事務局体制を理解するのに、組織図などがあるとより理解しやすいので次回開催時には、組織図もご用意いただきたい。」
委 員	「来年度の職員体制等は大丈夫なのか。心配である。」
会 長	「それなりに、育てて行きたいと考えている。」
副 委 員 長	「会費増強のための検討会を以前取り組んだことを覚えているが、その時のことも今後活かされていくのか。」
常 務 理 事	「その時の内容を検証したうえで、取り組んでいきたい。」
委 員	「今後の開催スケジュール等用意していただけるとありがたい。先の話になるが、次回策定に向けたスケジュールも示してほしい。」
委 員 長	「先に提案された、事業計画に反映してということになると、12月に1度開催し、4月に再度開催するというスケジュールではいかがか。」
委 員	「半期の報告は実施しているのか。」
法人運営室長	「現在は実施していません。」
委 員	「この委員会は、あくまで評価をする委員会であり、理事会や評議員会とは役割が別であるので、事業計画に反映といっても、自分達のスタンスを理解していないといけないのではないかと思う。 むしろ、評価する時に、シートの先にある、市民マインドがどうなったかが表れていないと意味が無いと思う。」
委 員	「評価も大事ではあるが、社協が取り組んでいることについて、それぞれの母体からの声をこの場にフィードバックしていくことも重要でないかと思う。」
事 務 局	「次回開催のスケジュールの確認をお願いしたい。」
委 員 長	「今年度については、1、2月頃に開催できればよいのではないか。」
委 員	「任期については、選出母体等の兼ね合いもあるので、途中で交代してしまう事があるかもしれないことを了承願いたい。」

## 議 事 録

委 員 長	「現在厚労省では、社会保障審議会生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会が開かれており、対象者を横断的に相談支援していくという内容は非常に重要であり今後の動向を注意していく必要がある。状況によっては、本委員会も臨時開催といったこともでてくるかもしれない。」
閉 会	これ以上委員からの意見もなく、全ての内容が終了したため、小野委員長は、本日の審議協力に礼を述べ閉会とした。